

沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

I 平成7年度研究業務状況

(1) 二部門以上共通

1. 沖縄伝統文化・芸術に関するデータベース作成のための基礎作業 [担当：全員]
2. 沖縄文化と東南アジア少数民族文化との比較のための調査研究 [担当：全員]
 - A ラオス情報文化省文化調査研究所副所長カンペン・ケタボング氏招聘
ラオスと沖縄の染織文化の共同研究 平成7年6月7日～22日
 - B 第4回ラオス民族文化調査（ラオス南部）[担当：柳悦州助教授・久万田晋助教授] 平成8年2月18日～3月7日
3. 柳宗悦研究会 [担当：柳悦州助教授・久万田晋助教授]
4. 東南アジア文化研究会 [担当：柳悦州助教授・久万田晋助教授]
5. 八重山の伝統舞踊の調査研究 [担当：波照間永吉教授・久万田晋助教授]
6. 公開講座（無料）沖縄の芸術と文化シリーズ第2回「沖縄文化概論－沖縄工芸の展開」
 - 第1回 平成7年9月20日 片岡 淳（琉球大学助教授）
「沖縄染織工芸の位置づけ」
 - 第2回 平成7年10月4日 小野まさ子（附属研究所共同研究員、具志川高校）
「交貿と工芸品」
 - 第3回 平成7年10月18日 上江洲敏夫（附属研究所共同研究員、具志川市史編さん室）「工芸史」
 - 第4回 平成7年11月1日 嘉陽 妙子（附属研究所共同研究員、具志川市史編さん室）「服飾文化」
 - 第5回 平成7年11月15日 滝田 幸一（沖縄県立芸術大学教授）
「沖縄陶芸と本土作家の関わり」
 - 第6回 平成7年12月6日 祝嶺 恭子（沖縄県立芸術大学教授）
「ドイツに渡った沖縄の工芸品」
 - 第7回 平成7年12月20日 与那嶺一子（附属研究所共同研究員、県立博物館）

学芸員)「紅型」

第8回 平成7年1月10日 柳 悦州(附属研究所助教授)

「日本民芸館所蔵織物」

第9回 平成7年1月24日 大嶺 實清(沖縄県立芸術大学教授)

「パナリ焼と東南アジアの焼物」

第10回 平成7年2月7日 前田 孝允(作家)

「沖縄の漆芸」

(2) 芸術文化学部門

1. 地域文化の調査研究

A 『琉球国由来記』の研究 [担当:波照間永吉教授]

B 沖縄の神歌の調査研究

C 西表古見の伝統文化の調査研究 [担当:加治工真市教授・波照間永吉教授・森田孫栄調査員・大底朝要調査員・新本貞男調査員・赤嶺政信調査員・大城學調査員・小野まさ子調査員・新城敏男調査員]

2. 沖縄古語辞典の執筆 [担当:加治工真市教授・波照間永吉教授]

3. 八重山方言辞典作成のための調査研究 [担当:加治工真市教授]

4. おもろ研究会 [担当:波照間永吉教授。「おもろ研究会」(仲宗根政善代表)を開催]

5. 沖縄文化と日本文化の比較文化学的研究 [担当:ホルスト・S・ヘンネマン教授]

6. 公開講座(有料)「『おもろさうし』を読む」(全10回)

第1・2回 平成7年11月30日、12月1日 外間守善客員教授

「『おもろさうし』研究史」(1)・(2)

第3・4回 平成7年12月4日、6日 高橋俊三沖縄国際大学教授

「『おもろさうし』のことば」(1)・(2)

第5～10回 平成7年12月7日～平成8年2月21日 波照間永吉教授

「オモロを読む」(1)～(6)

(3) 伝統工芸部門

1. 沖縄織物の研究 [担当：柳悦州助教授]
 - A 沖縄織物画像データベース作成のための基礎研究とデータ収集
 - B 沖縄織物の研究
 - C 鎌倉芳太郎紅型紙資料の画像データベース作成と基礎研究
 - D 技法研究
2. ラオスの織物文化研究 [担当：柳悦州助教授]
3. 沖縄伝統工芸の研究 [担当：大嶺實清教授・和宇慶朝健教授]

(4) 伝統芸能部門

1. 沖縄・奄美の民俗音楽調査研究
 - A 沖縄本島中部臼太鼓の調査研究 [担当：金城厚助教授・久万田晋助教授]
 - B 奄美諸島の民俗芸能・音楽の調査研究 [担当：久万田晋助教授]
2. 沖縄古典舞踊の技法研究 [担当：宮城能鳳教授・久万田晋助教授]
3. 沖縄奄美民俗音楽関係資料の収集 [担当：金城厚助教授・久万田晋助教授]

II 平成8年度研究業務状況**(1) 二部門以上共通**

1. 沖縄伝統文化・芸術に関するデータベース作成のための基礎作業 [担当：全員]
2. 沖縄文化と東南アジア少数民族文化との比較のための調査研究 [担当：全員]
 - A 第5回ラオス民族文化調査（ヴィエンチャン周辺地域） [担当：柳悦州助教授・久万田晋助教授] 平成9年3月19日～29日
3. 柳宗悦研究会 [担当：柳悦州助教授・久万田晋助教授]
4. 東南アジア文化研究会 [担当：柳悦州助教授・久万田晋助教授]
5. 八重山の伝統舞踊の調査研究 [担当：波照間永吉教授・久万田晋助教授]
6. 公開講座 沖縄の芸術と文化シリーズ第3回「宮古・八重山のくらしと文化」
 - 第1回 平成8年9月25日 新城敏男（附属研究所共同調査員、名桜大学教授）
「八重山歴史の諸相 その1」

- 第2回 平成8年10月2日 新城敏男（附属研究所共同調査員、名桜大学教授）
「八重山歴史の諸相 その2」
- 第3回 平成8年10月16日 平良勝保（附属研究所共同研究員、城辺町史編集委員）「島津侵入と宮古の人頭税」
- 第4回 平成8年10月30日 平良勝保（附属研究所共同研究員、城辺町史編集委員）「宮古・近代への波濤－異国船到来と王府支配体制のゆらぎ－」
- 第5回 平成8年11月13日 赤嶺政信（沖縄県立芸大非常勤講師、琉球大学助教授）「八重山の建築儀礼と樹木霊」
- 第6回 平成8年11月27日 赤嶺政信（沖縄県立芸大非常勤講師、琉球大学助教授）「宮古の祭祀組織の特色」
- 第7回 平成8年12月11日 上原孝三（附属研究所共同研究員、琉球大学講師）
「宮古の歌謡と儀礼」
- 第8回 平成8年12月25日 上原孝三（附属研究所共同研究員、琉球大学講師）
「神女誕生と就任－宮古島西原の事例から」
- 第9回 平成9年1月8日 波照間永吉（附属研究所教授）
「琉球国由来記と八重山」
- 第10回 平成9年1月22日 波照間永吉（附属研究所教授）
「八重山の仮面神と文芸」

(2) 芸術文化学部門

1. 地域文化の調査研究

- A 『琉球国由来記』の研究 [担当：波照間永吉教授]
- B 沖縄の神歌の調査研究
- C 西表古見の伝統文化の調査研究 [担当：加治工真市教授・波照間永吉教授・森田孫栄調査員・大底朝要調査員・新本貞男調査員・赤嶺政信調査員・大城學調査員・小野まさ子調査員・新城敏男調査員]

2. 八重山方言辞典作成のための調査研究 [担当：加治工真市教授]

3. おもろ研究会 [担当：波照間永吉教授 「おもろ研究会」(平山良明代表) を開催]

4. 沖縄文化と日本文化の比較文化学的研究 [担当：ホルスト・S・ヘンネマン]

教授]

5. 客員研究員受け入れ ウェイン・ローレンス博士（ニュージーランド・オークランド大学講師・言語学）平成8年6月～平成9年1月

(3) 伝統工芸部門

1. 沖縄織物の研究 [担当：柳悦州助教授]
 - A 沖縄織物画像データベース作成のための基礎研究とデータ収集
 - B 沖縄織物の研究
 - C 鎌倉芳太郎紅型型紙資料の画像データベース作成と基礎研究
 - D 技法研究
2. ラオスの織物文化研究 [担当：柳悦州助教授]
3. 沖縄伝統工芸の研究 [担当：大嶺實清教授・和宇慶朝健教授]
4. 公開講座（有料）「シルクスクリーンによる版画制作」平成8年8月23日～30日 [担当：和宇慶朝健教授]

(4) 伝統芸能部門

1. 沖縄・奄美の民俗音楽調査研究
 - A 沖縄本島エイサーの調査研究 [担当：久万田晋助教授]
 - B 奄美諸島の民俗芸能・音楽の調査研究 [担当：久万田晋助教授]
2. 沖縄古典舞踊の技法研究 [担当：宮城能鳳教授・久万田晋助教授]
3. 沖縄奄美民俗音楽関係資料の収集 [久万田晋助教授]

III 主要研究業績（平成7年1月～平成8年12月）

1) 研究所員主要研究業績

1. 著書・編書
2. 論文
3. 作品発表・公演
4. 研究発表
5. 解説等
6. 講演・放送
7. その他

2) 助成研究

1. 平成7年度～8年度において研究代表者、研究分担者となっている科学研究費研究

- a 研究代表者となっているもの b 研究分担者となっているもの
2. 沖縄県立芸術大学芸術振興財団助成研究
 3. その他

(1) 研究所長

加治工真市（教授、兼任教員）

- 1) 1. 『沖縄古語大辞典』（共編著）角川書店 平成7年7月10日
2. 「鳩間方言の人体関係語彙」『琉球の方言』（法政大学）18・19合併号
平成7年2月24日
2. 「竹富方言鼻母音の音韻論的解釈について」『沖縄県八重山の総合的研究』（平成6年度 文部省科学研究費研究成果中間報告書）平成7年5月20日
2. 「波照間島方言の音韻研究」『沖縄文化研究』22号（法政大学沖縄文化研究所紀要） 平成8年2月
2. 「竹富方言音韻の問題点」“Problems of Some Phonemes in the Taketomi Dialect”『音声学会会報』第212号 平成8年8月
2. 「久高島方言音韻論序説」平山輝男博士米寿記念論文集『日本語研究諸領域の視点』平成8年11月
4. 研究発表「波照間のことば」第262回県立博物館文化講座 平成8年7月13日 那覇市：沖縄県立博物館
7. 書評「中本正智著『図説琉球語辞典』（金鶏社）」『琉球の方言』（法政大学）18・19合併号 平成7年2月24日
7. 書評「中本正智著『日本語の原景－日本列島の言語学－』（金鶏社）」『琉球の方言』（法政大学）18・19合併号 平成7年2月24日
7. 波照間島総合調査（言語班） 平成8年8月
7. 法政大沖縄文化研究所八重山総合調査 平成8年9月

(2) 芸術文化学部門

Horst Siegfried Henneman ホルスト・S・ヘンネマン（教授、兼任教員）

- 1) 6. 「『大和の風』^{ふう}－琉球王朝と茶の湯」沖縄県立芸術大学附属研究所
公開講座「沖縄の芸術と文化シリーズ」平成6年度「沖縄文化概論－近

世琉球のくらしと芸術—」第9回 平成7年1月26日 沖縄県立芸術大学

波照間永吉

1. 『沖縄古語大辞典』（共編著）角川書店 平成7年7月10日
2. 「『沖縄古語大辞典』の構想とその特色」『国語科通信』（角川書店刊）平成7年3月号
2. 「雲南・アカ族の生活と文化」『琉球新報』 平成7年6月15日
2. 「重複オモロの考察——『重複』の実態と『重複』概念の提示——」『沖縄文化研究』22号 法政大学沖縄文化研究所 平成8年2月10日
2. 「重複オモロの実相」『沖縄芸術の科学』第8号 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成8年3月31日
2. 「祭祀と歌謡」岩波講座『日本文学史』第15巻「琉球文学・沖縄の文学」岩波書店 平成8年5月8日
4. 「沖縄八重山の『語る神』と『語らない神』」国際日本文化研究所特定研究シンポジウム「環太平洋における沖縄の祖霊信仰」. パネルディスカッション「魂をめぐる文学・文化」基調報告 平成7年1月24日～26日
4. 「雲南・アカ族の生活と文化」沖縄県立芸術大学附属研究所東南アジア民族文化調査報告会 平成7年6月17日
4. 「八重山文化と私」石垣ケーブルテレビ 平成7年7月1日
4. 「中国雲南省の少数民族の生活」沖縄国際大学産業総合研究所研究会. テーマ「中国雲南省辺境地域少数民族の社会と生活」. 平成7年8月11日
4. 「琉球文学と沖縄古語」沖縄県立教育センター平成7年度高等学校短期研修講座「高等学校国語1基礎講座」平成7年8月17日
4. 「中国雲南・アカ族の民族文化」第51回沖縄・八重山文化研究会 平成7年8月20日
4. 「オモロと首里城」首里城公園友の会第1回講演会 平成7年9月9日
4. 「今帰仁とオモロ」おもろ研究会1000回記念研究発表会 平成7年9月24日
4. 「八重山の祭祀と芸能」民俗芸能学会沖縄大会シンポジウム平成7年10

月25日

4. 「『おもろさうし』にみる国頭」第20回沖縄県立博物館移動博物館「文化講座」平成7年11月26日
4. 「『おもろさうし』を読む」(第5～10回) 沖縄県立芸術大学附属研究所 公開講座 平成7年12月7・11・13・14・18・21日
4. 「古代沖縄の想念と文学」マイライフセミナー 平成8年7月4日
4. 「琉球文学概説」沖縄県立教育センター平成8年度「高等学校国語I基礎講座」平成8年7月26日
4. 「沖縄古語大辞典と琉球文学」沖縄県高等学校国語教育研究会 平成8年12月12日
7. 「大底朝要さんの『うた』のふるさと」『八重山歌の花綵 公演パンフレット』平成7年6月25日
7. 「正月のうた」『琉球新報』平成8年1月4日
7. 「高城 隆『花彩列島—民俗と伝承—』『沖縄文化』83号 沖縄文化協会 平成8年1月20日
7. 「知名定寛『沖縄宗教史の研究』」『沖縄文化』83号 沖縄文化協会 平成8年1月20日
7. 「清楚と敬虔—八重山芸能選への期待—」『琉球新報』平成8年7月24日
7. 「朝薫の五番と女性」『組踊特別鑑賞会—至芸への招待』パンフレット NHK 沖縄放送局 平成8年9月14日
7. シンポジウム記録「祭りから芸能へ—南島の島々に探る—」(平成7年度日本民俗芸能学会大会シンポジウム記録)『民俗芸能研究』第23号 平成8年9月

1994年業績補遺

2. 「外間先生の横顔」『日本文学誌要』第51号(外間守善教授退官記念号) 法政大学日本文学会 平成7年3月24日
7. 「南島歌謡論」(座談会)『日本文学誌要』第51号(外間守善教授退官記念号) 法政大学日本文学会 平成7年3月24日

(3) 伝統工芸部門

大嶺 實清（教授、兼任教員 平成9年3月退官）

- 1) 3. 久米島空港陶壁「島の詩」制作 平成8年3月
7. 沖縄県立現代美術館基本計画委員会委員 平成8年4月1日～平成9年3月31日
7. 沖縄県立芸術の森基本計画委員会座長 平成8年4月1日～平成9年3月31日
7. 沖縄県立伝統工芸館基本構想委員会 平成8年4月1日～平成9年3月31日

和宇慶朝健（教授、兼任教員）

- 1) 3. 平成7年3月 第47回《沖展》「記憶の風景95-2」版画 浦添市民体育館
3. 平成7年7月 「正保の絵地図 本島」、「正保の絵地図 大島・本島・先島」壁画 沖縄県公文書館
3. 平成7年8月 《沖縄戦後美術の流れ》沖縄近現代美術家展「関係一位置」版画
3. 平成7年9月 《県展》（審査員無鑑査出品）「あるいはディジャブ」版表現 宜野湾市民体育館
3. 平成7年9月 「あおいくびわ」版画
3. 平成7年12月 《'95風のビエンナーレ》（風の造形物入選）「幸せの三つの門」立体造形 山形県立川市
3. 平成7年12月 《'95現代沖縄作家小品展II》「A CUP」版表現
3. 平成7年12月 《てだこのまちの美術家達》「RORUSO」版表現 浦添市美術館
3. 平成7年12月 《戦後50年沖縄の美術》「かぜにふかれて」絵画 那覇市
3. 平成8年3月 「優」レリーフ 沖縄県女性総合センター
3. 平成8年3月 「雄」レリーフ 沖縄県自治研修所
3. 平成8年3月 「世」立体造形 沖縄県女性総合センター、自治研修所
3. 平成8年3月 第48回《沖展》「ディジャブII-96」版表現 浦添市民

体育館

- 3. 平成8年5月 「第9回工芸公募展」ポスター
- 3. 平成8年7月 「ミャンマーの漆芸と文化」写真 浦添市美術館
- 3. 平成8年9月 《県展》(審査員無鑑査出品)「記憶の風景96-1」ペーパーワーク 宜野湾市民体育館
- 3. 平成8年11月 《開学10周年教官展》「記憶の風景96-2」ペーパーワーク
- 3. 平成8年11月 《開学10周年教官展》「記憶の風景96-3」ペーパーワーク
- 3. 平成8年12月 コンクリートミキサー車の色彩計画 沖縄県生コン事業協同組合
- 7. 平成7年度浦添市美術館公開講座 版画教室(シルクスクリーン)平成7年9月1日~10月1日 15回 浦添市美術館
- 7. 平成8年度浦添市美術館公開講座 版画教室(シルクスクリーン)平成7年8月1日~ 15回 浦添市美術館

柳 悦州(助教授、専任教員)

- 1) 2. 「ラオス シェンルアン村織物調査報告」『沖縄芸術の科学』第7号 p91-106 平成6年3月
- 2. 「ラオス シェンコー地域織物調査報告」『沖縄芸術の科学』第8号 p57-73 平成7年3月31日
- 2. 「久米島」『県立博物館久米島総合調査報告書』(共著) 沖縄県立博物館 平成8年7月
- 2. 「奄美のノロ遺品調査報告書 -宇検村のノロ衣裳・神扇を中心に-」『沖縄県史研究叢書1』(共著) 沖縄県史技術史(染織)編専門部会 平成8年3月
- 2. 「沖縄とラオスの織物」『民芸』第524号 平成8年8月15日
- 3. 平成7年4月 第69回《国展》「経緯緋紬着物」東京都立美術館
- 3. 平成8年4月 第70回《国展》「紬着物」東京都立美術館
- 3. 平成8年11月 国画会70周年記念展《工芸の継承と展開》「経緋手綱紬

- 着物」西武アート・フォーラム
3. 平成8年11月 《開学10周年教官展》「三色手綱紬着物」、「経紬手綱紬着物」沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館
 4. 「御絵図帳にみる近世琉球の染織」沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座 平成7年2月23日 沖縄県立芸術大学
 4. 「ラオスの紋織物について」国立民族学博物館共同研究《東アジアにおける機織り技術の民族学的研究》 平成7年2月16日 国立民族学博物館
 4. 「ラオスの紋織技術」東南アジア史学会大会 平成7年12月2日 沖縄県立芸術大学
 4. 「沖縄の紋織技術」国立民族学博物館共同研究《東アジアにおける機織り技術の民族学的研究》 平成7年12月16日 国立民族学博物館
 4. 「沖縄の紋織物」沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座 平成8年1月10日 沖縄県立芸術大学
 4. 「沖縄の織物の特徴」The Exhibition on Lao traditional textiles 平成8年3月10日 ラオス：ヴィエンチャン
 4. "Lao PDR Textile Tradition Research by the Institute Attached to the Okinawa Prefectural University of Arts in Japan and the Lao PDR Institute for cultural Research, Ministry of Information and Culture" INTERNATIONAL EXPERT MEETING FOR THE SAFEGUARDING AND PROMOTION OF THE INTANGIBLE CULTURAL HERITAGE OF MINORITY GROUPS OF THE LAO PDR (ユネスコ主催「ラオスの少数民族の無形文化財の保護と振興に関する国際専門家会議」招聘及び発表) 平成8年10月8日 ラオス：ヴィエンチャン
 5. 「御絵図にみる近世沖縄織物」『新県史だより』第4号 平成7年3月24日
 6. 講演「経ずらし経講習会」平成7年5月31日～6月1日 沖縄県工芸指導所
 6. 講演「沖縄とラオスの織物」日本民芸館 平成8年8月3日
 7. 第4回ラオス民族文化調査(織物) 平成7年2月18日～3月13日

- 7. 沖縄県内所在染織品調査嘱託員：沖縄県教育委員会 平成7～8年度
- 7. 新沖縄県史専門部会委員：技術史（染織） 平成7～8年度
- 7. 新沖縄県史装丁検討委員会委員 平成7～8年度
- 2) 1. a 「沖縄染織文化の比較研究のための画像データベースの基礎的構築」
平成8年度 研究代表者：柳 悦州
- 2. 「鎌倉芳太郎紅型資料の分類」平成7年度 研究代表者：柳 悦州
- 3. 国立民族学博物館共同研究「東アジアにおける機織り技術の民族学的研究」（平成8年3月まで）研究代表者：吉本 忍

(4) 伝統芸能部門

宮城 能鳳（教授、兼任教員）

- 1) 3. 平成7年2月 組踊特別鑑賞会《～至芸への招待～》に出演、組踊「女物狂」母役。
- 3. 平成7年2月 平成6年度重要無形文化財組踊伝承者研修発表会において「久志の若按司」の演出・指導。
- 3. 平成7年3月 野村流音楽協会 組踊地謡研修部第13回発表会「朝薫の5番一挙上演～銘苺子～」に出演、天女役。
- 3. 平成7年3月 沖縄県立芸術大学卒業演奏会 組踊「手水の縁」の演出・指導。
- 3. 平成7年3月 平成6年度伝統組踊保存会定期公演に出演、組踊「女物狂」母役。
- 3. 平成7年7月 日本学術会議《伝統芸能鑑賞会》に出演、舞踊「高平良萬歳」を踊る。
- 3. 平成7年9月 「組踊」特別鑑賞会《～至芸への招待～》に出演、組踊「銘苺子」天女役。
- 3. 平成7年10月 5芸大学長会議《芸能鑑賞会》に出演、舞踊「諸屯」を踊る。
- 3. 平成7年10月 大琉球まつり王国《沖縄の男性舞踊家と古典音楽》に出演、舞踊「天川」を踊る。
- 3. 平成7年10月 沖縄県立芸術大学第6回定期公演に出演、舞踊「金細工」

- を踊る。
3. 平成7年11月 《宮城能鳳の会～女形の魅力～》開催。舞踊「かせかけ」、
「伊野波節」、「花風」、「むんじゅる」、「汀間当」、「金細工」を踊る。
 3. 平成7年12月 県立浦添商業高等学校《演劇鑑賞会》に出演、組踊「花
売の縁」乙樽役。
 3. 平成8年1月 組踊研究会《若松会》第2回公演 「手水の縁」の演出・
指導。
 3. 平成8年1月 《新春古典芸能公演～響む初春の音～男性舞踊家の競演》
に出演、舞踊「諸屯」を踊る。
 3. 平成8年1月 国家指定組踊特別鑑賞会川崎市公演に参加。組踊「萬歳
敵討」妻役、舞踊「かせかけ」を踊る。
 3. 平成8年2月 国指定組踊特別鑑賞会大阪公演に参加。組踊「萬歳敵討」
妻役、舞踊「かせかけ」を踊る。
 3. 平成8年2月 平成7年度重要無形文化財組踊伝承者研修発表会におい
て「銘苺子」の演出・指導。
 3. 平成8年3月 国指定重要無形文化財平成7年度伝統組踊保存会定期公
演に出演、「手水の縁」玉津役。
 3. 平成8年3月 NHK テレビ《沖縄の歌と踊りのつどい》に出演、舞踊
「諸屯」を踊る。
 3. 平成8年3月 沖縄県立芸術大学卒業演奏会 組踊「花売の縁」の演出・
指導。
 3. 平成8年3月 国立劇場第8回琉球芸能公演《組踊～沖縄演劇の伝統～》
に出演、組踊「執心鐘入」宿の女役、組踊「花売の縁」乙樽役、組踊「銘
苺子」天女役。
 3. 平成8年7月 沖縄県立芸術大学邦楽専攻第2回男性有志公演において、
組踊「執心鐘入」の演出・指導。
 3. 平成8年8月 NHK テレビ《芸能花舞台》に出演、解説および舞踊「花
風」を踊る。
 3. 平成8年9月 沖縄懇話会、日本民族国際交流協会《能と組踊～母と子
の絆～物狂のドラマ》に出演、組踊「女物狂」母役。

3. 平成8年9月 組踊特別鑑賞会《～至芸への招待～》に出演、組踊「執心鐘入」宿の女役。
3. 平成8年9月 日米親善文化交流 県人サンフランシスコ移住100周年記念《鳳乃会米国公演》に参加。
3. 平成8年10月 国家指定組踊特別鑑賞会和歌山県公演に参加、組踊「執心鐘入」宿の女役、舞踊「天川」を踊る。
3. 平成8年10月 国公立学長会議における芸能鑑賞会に出演、舞踊「高平良萬歳」を踊る。
3. 平成8年10月 《狂言と組踊鑑賞会》に出演、組踊「執心鐘入」宿の女役。
3. 平成8年11月 野村流音楽協会 島袋正雄独演会《妙音の真理》に出演、舞踊「花風」を踊る。
3. 平成8年11月 国家指定組踊特別鑑賞会岐阜県公演に参加、組踊「執心鐘入」宿の女役、舞踊「天川」を踊る。
3. 平成8年11月 沖縄県立芸術大学第7回邦楽定期公演に出演、組踊「銘苺子」天女役。
3. 平成8年11月 野村流古典音楽保存会組踊地謡研修発表会において組踊「執心鐘入」、「手水の縁」の演出・指導。
3. 平成8年12月 東アジア社会保障担当閣僚会議歓迎芸能公演《蓬萊島沖縄》に出演、組踊「執心鐘入」宿の女役。
3. 平成8年12月 国立組踊劇場誘致推進事業組踊普及公演名護市公演に参加、組踊「執心鐘入」、舞踊「天川」を踊る。
3. 平成8年12月 沖縄県南部連合文化協会《第1回南部芸能まつり》に特別招待出演、舞踊「高平良萬歳」を踊る。
3. 平成8年12月 《親泊興照生誕百年記念芸能祭》に出演、舞踊「鳩間節」を踊る。
7. 平成8年6月 県指定「沖縄伝統舞踊」保持者の認定を受ける。

久万田晋（助教授、専任教員）

- 1) 2. 「笠利町宇宿の八月踊り－概観と歌詞の局面から－」（共著：内田敦）
『沖縄芸術の科学』第8号 平成7年3月31日

2. 「八月踊り研究の現在－松原武実説を検討する－」『奄美沖縄民間文芸研究』第18号 平成7年11月30日
2. 「沖縄における伝統音楽からポピュラー音楽への展開」『文部省国際シンポジウム アジア諸民族音楽文化のダイナミズム－伝統と変容－報告書』国立民族学博物館 平成8年3月15日
2. 「民族音楽における沖縄の発見」『平成8年度沖縄地区大学放送公開講座 琉球に魅せられた人々－外からの琉球研究とその背景－（テレビ講座）』琉球大学公開講座委員会 平成8年8月9日
4. 「奄美民謡と八重山民謡の関わり－〈六調〉を中心に－」第48回沖縄・八重山文化研究会 平成7年5月21日 沖縄県立芸術大学
4. 「宮古芸能の将来を見据えて」シンポジウム「〈戦後50年 宮古の現状と課題〉 テーマ：自然・文化変容」にサブ報告者として参加・発表 平成7年9月23～24日 平良市中央公民館
4. 「奄美の祭りと芸能の様相」民俗芸能学会平成7年度大会シンポジウム「祭りから芸能へ－南島の島々に探る－」にパネリストとして参加・発表 平成7年10月9日 沖縄県立芸術大学
4. 「沖縄における伝統音楽からポピュラー音楽への展開」文部省国際シンポジウム「アジア諸民族音楽文化のダイナミズム－伝統と変容－」
"DYNAMICS OF ASIAN MUSIC Tradition and Its Modification"
The Asian-Pacific Society for Ethnomusicology パネルディスカッション2「現代アジアにおける伝統音楽とポピュラー音楽」にパネリストとして参加・発表 平成7年10月27日 大阪：国立民族学博物館
4. 「沖縄における民俗音楽研究の課題」日本民俗音楽学会第9回大会シンポジウム「日本とその周辺の民俗音楽研究」にパネリストとして参加・発表 平成7年10月29日 大阪：国立民族学博物館
4. 「奄美音楽の創造－沖縄からの視点－」日本民俗音楽学会第10回大会シンポジウム「奄美音楽の継承と発展」にパネリストとして参加・発表 平成8年9月15日 名瀬市（鹿児島県）：名瀬市中央公民館
4. 「沖縄ポップという現象 内からの視点」日本ポピュラー音楽学会1996年度大会ワークショップB-1「沖縄ポップ：内から外から」に問題提

- 起者として参加・発表 平成8年11月10日 東京：東京経済大学
6. 講演「世界の楽器から見たガムラン」沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座「インドネシアの音楽文化ーガムラン音楽・理論と実習ー」第2回 平成7年2月3日 沖縄県立芸術大学
 6. 講演「沖縄における民俗舞踊の展開」沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座「沖縄の芸術と文化シリーズ」平成6年度「沖縄文化概論ー近世期琉球のくらしと芸術ー」第10回 平成7年2月9日 沖縄県立芸術大学
 6. 講演「沖縄民謡の世界」沖縄ピアノ同好会 平成7年7月23日 沖縄市：サーラ・フェリーチェ
 6. 講演「沖縄民謡の魅力」沖縄ピアノ同好会 平成8年8月1日 浦添市：ハーモニーホール
 6. テレビ番組構成・出演「民族音楽における沖縄の発見」(30分番組) 平成8年度沖縄地区大学放送公開講座「琉球に魅せられた人々ー外からの琉球研究とその背景ー」(テレビ講座) 平成8年11月23日 沖縄テレビ
 7. 発表要旨「奄美民謡と八重山民謡の関わりー<六調>を中心にー」 沖縄・八重山文化研究会編『五周年記念 沖縄・八重山文化研究会会報 1991年～1996年』 平成8年8月31日
 7. 書籍紹介「本田安次著『南島探訪記』」、「『山内盛彬著作集』」、「日本放送出版協会編『日本民謡大観 沖縄奄美』」まぶい組編『島立まぶい図書館からの眺め』ポーターインク 平成8年3月
 7. 「奄美民俗音楽へのご招待」『日本民俗音楽学会会報』第5号 平成8年4月30日
 7. 発表要旨「沖縄ポップ：内から外から」『1996年度日本ポピュラー音楽学会第8回大会プログラム／発表要旨集』日本ポピュラー音楽学会第8回大会実行委員会 平成8年11月
 7. シンポジウム記録「祭りから芸能へー南島の島々に探るー」(平成7年度民俗芸能学会大会シンポジウム記録)『民俗芸能研究』第23号 平成8年9月
 7. 書評「酒井正子著『奄美歌掛けのディアローグ あそび・ウワサ・死』」『日本民俗音楽学会会報』第6号 平成8年12月20日